

新作歌舞伎～和と洋のコラボレーション
第四回システィーナ歌舞伎 「主天童子」
2012年11月13日(火)～15日(木)6回公演

 企画の意図

大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)では、2009年の『^{きりしたんでらいぶん}切支丹寺異聞 ^{ガラシヤ}伽羅紗』、2010年の『スサノオ susanoo』、2011年の『GOEMON 石川五右衛門』に引き続き、ヴァティカンのシスティーナ礼拝堂を原寸大に立体再現した「システィーナ・ホール」を舞台とする新作歌舞伎『^{しゅてんどうじ}主天童子』を、11月13～15日にかけて6回公演いたします。

システィーナ歌舞伎は、「和と洋のコラボレーション」「創作による新作歌舞伎」をコンセプトにしています。

今般、初演される「主天童子」は、松竹株式会社製作により、荘厳な雰囲気を持つ「システィーナ・ホール」に合わせて水口一夫 作・演出、藤間勘十郎 振付により繰り広げる創作劇です。

主天童子には片岡愛之助が扮し、共演者に、中村吉太郎、坂東新車そして第一回目から連続出演の上村吉弥らおなじみの顔ぶれが揃いました。

2012年秋、ルネサンスの巨匠ミケランジェロがシスティーナ礼拝堂天井画を完成して500年を迎えます。ドイツの文豪ゲーテは「人間がどれほど偉大なことを成し遂げられるか、システィーナ礼拝堂の大壁画をみるまでは誰もわからないだろう」と『イタリア紀行』の中で驚嘆したといえます。現在でも、世界中からこの天井を仰ぐために礼拝堂を訪れる人はあとを絶ちません。

この記念すべき年に、間口約19m×奥行約40m×高さ約15mという壮大なホールを「システィーナ歌舞伎」だけの空間として、心ゆくまで美術鑑賞と歌舞伎観劇を楽しむことができるのは、当美術館ならではの贅沢な企画です。天井画完成から500年の月日を経て「神のごときミケランジェロ」が遺した天井画を背に演じる歌舞伎は、ミケランジェロの情熱と「かぶく心」が相乗効果を生み、和と洋が織りなす幻想的な舞台となることでしょう。

本公演は、地域文化の振興を目指し、第27回国民文化祭・とくしま2012 国文祭成果継承事業として進めています。システィーナ歌舞伎が「文化立県とくしま」の更なる発展のため、歌舞伎ファンはもとより、美術ファンにも広く歌舞伎に親しむ機会となるよう、徳島から新しい文化の創造・発信に取り組みたいと考えています。



日 時

30分前開場、各公演2時間半予定

11月13日(火) 【昼の部】13:30 【夜の部】18:30
 11月14日(水) 【昼の部】13:30 【夜の部】18:30
 11月15日(木) 【午前の部】10:30 【午後の部】14:30



入場料 (美術館入館料・観劇料)

1公演 500席

S席 12,000円 / A席 10,000円 当日券は500円増

9月19日(水) 午前10時より販売開始

ご参考

プロフィール

かたおかあいのすけ
【片岡愛之助 六代目 屋号：松嶋屋】

大阪府出身。

十三世片岡仁左衛門の部屋子を経て、1992年1月片岡秀太郎の養子となり、六代目片岡愛之助を襲名。涼やかさと骨太さを併せ持ち、和事の二枚目から荒事、義太夫狂言の主人公まで古典の大役に挑んで成果を上げている、次代を担う人気花形だ。

最近の主な歌舞伎への出演は、『義賢最期』の木曾先生義賢、『夏祭浪花鑑』の団七九郎兵衛、『引窓』の南方十次兵衛、『廓文章』の藤屋伊左衛門、『義経千本桜』のいがみの権太、『御浜御殿綱豊卿』の徳川綱豊卿、『女殺油地獄』の河内屋与兵衛、『毛抜』の条寺弾正など。

また、歌舞伎以外の舞台にも積極的に取り組み、今年10月にはEXILEのMAKIDAIとの共演が話題の『影武者独眼竜』が控えている。

近年は、映像の分野にも活躍の場を広げ、映画『築城せよ!』(2009)、『小川の辺』(2011)などに出演、TVではドラマ『黄昏流星群～星降るホテル』(フジテレビ系)が記憶に新しい。

舞踊家としての顔も持ち、上方舞の榎茂都流の四代目家元として一門を束ねている。

システィーナ歌舞伎には昨年に引き続き、今年二度目の出演となる。



かみむらきちや
【上村吉弥 六代目 屋号・美吉屋】

和歌山県出身。

1973年、片岡我當に入門。1993年11月、六代目上村吉弥を襲名。憂いを含んだ品のある美貌と確かな実力を併せ持つ、上方歌舞伎になくてはならない女方のひとり。古典から新作まで熱心に取り組む努力家である。恒例となっている南座の歌舞伎鑑賞教室では今年、舞踊の大曲『連獅子』に立役として挑み、二十年目の節目に新境地を開いた。



また、師・片岡我當一門で巡演する歌舞伎鑑賞教室でも、常に重要な役どころを演じている。

最近の歌舞伎の主な出演は、『修善寺物語』の楓、『寺子屋』の園生の前、『引窓』のお幸、『封印切』の井筒屋おえんなど。上方のしっとりとした雰囲気を手堅く演じてみせる一方で、『京鹿子娘道成寺』の白拍子花子に挑戦するなど、舞踊へも意欲的だ。若女房から老け役まで多彩に演じ分ける手腕を買われ、江戸川乱歩作品を歌舞伎化した『江戸宵闇妖鉤爪』の百御前、『釣女』の醜女、『茶壺』の目代など、個性的な役や立役での出演も多く、芸域の広さを印象づけている。

システィーナ歌舞伎には第一回目から連続出演、四回目のお目見得となる。

なかむらかずたろう
【中村壱太郎 初代 屋号・成駒屋】

東京都出身。

中村翫雀の長男。祖父は人間国宝坂田藤十郎。母は吾妻徳彌。

1995年1月、初代中村壱太郎を名乗り初舞台。清らかな品と初々しさが輝きを放つ。『鏡獅子』や『封印切』の梅川、『義経千本桜』の静御前など、若くして大役に次々と挑んでいる伸び盛りの花形だ。日々の研鑽が実を結び、昨年度の文化庁芸術祭賞新人賞、大阪市の「咲くやこの花賞」を相次いで受賞した。



最近の歌舞伎での主な出演は、『曽根崎心中』の天満屋お初、『熊谷陣屋』の藤の方、『義経千本桜』のお里、『廓文章』の扇屋夕霧、『引窓』のお早など。舞踊においてもその進境は著しく、昨秋、高い評価を得た『連獅子』仔獅子の精での技量を買われ、9月下旬の南座「古典への誘い」公演、次いで10月末の「世界遺産薬師寺奉納歌舞伎舞踊公演」にも出演が決まっている。

一方、国立劇場の歌舞伎鑑賞教室では、解説を担当して歌舞伎ファンの拡大にも大きく貢献。親しみやすい話術には定評があり、多才な一面を見せる。昨年4月からはNHKのラジオ番組『邦楽ジョッキー』のDJもこなし、二十二歳の今どきの大学生としての等身大の姿をのぞかせている。

システィーナ歌舞伎には二作目から参加していて、今回が三回目の出演となる。

ばんどうしんしゃ
【坂東薪車 四代目 屋号・音羽屋】

千葉県出身。

1998年初舞台。坂東竹三郎の芸養子となり、2005年4月、四代目坂東薪車を襲名。精悍な面立ちと誠実な人柄で真摯に舞台に取り組み、度重なる抜擢を経て、いまや上方歌舞伎を支える立役のひとりとして注目されている。



近年の歌舞伎の出演は、『阿古屋』の岩永左衛門、『椿説弓張月』の武藤太、『南総里見八犬伝』の犬川荘助、『近頃河原達引』の井筒屋伝兵衛、『夏祭浪花鑑』の玉島磯之丞など。

活躍の場は歌舞伎のみにとどまらず、藤山直美の相手役として松竹新喜劇の名作『銀のかんざし』の清之助役を二度にわたって好演、上方和事の二枚目役を体現して芸域を広げている。

さらに、今夏、初めての自主公演となる「坂東薪車の会」を立ち上げ、『仮名手本忠臣蔵』の五・六段目の早野勘平と『連獅子』の親獅子の精を体当たりで演じた。自ら選んだ義太夫狂言と名作舞踊の大役を、初役ながら完全燃焼でつとめあげて、観客の喝采を浴びていた。

システィーナ歌舞伎には、二年ぶり三回目の出演となる。

「システィーナ礼拝堂」について

ミケランジェロ（1475-1564）

天井画：「天地創造」ほか

1508-12年 フレスコ / 3255×670 cm

壁画：「最後の審判」

1536-41年 フレスコ / 1463×1338 cm



システィーナ礼拝堂は教皇シクストゥス4世（在位1471-84）の命によって、1473年頃ヴァチカン宮殿内に建造が開始されたことからその名があります。

時の教皇ユリウス2世（在位1503-13）は彫刻家として、建築家として、詩人として、さらに画家として優れた才能を発揮したミケランジェロに天井画を描くように依頼しました。彼は、1508年からわずか4年間で、旧約聖書『創世記』に基づき、天地創造から人類の誕生、そして人類の墮落と刑罰という神と人類との物語など、約1000平方メートルの天井に300人にも及ぶ人間像を描き上げました。天井画完成からおよそ四半世紀後、ミケランジェロは再び同じ礼拝堂の正面の壁画に「最後の審判」（『新約聖書』）を描くこととなります。「最後の審判」とはキリスト教の考える世界の終末です。キリストが再び現れ、天使が死者を復活させ、人類は善人と悪人に分けられます。そして善人は天国へと救済され、悪人は地獄へ堕ちるとされています。伝統的な審判図が位階的で安定した構図をもつのに対し、ミケランジェロのそれは極めてユニークなものとなっています。ここでは、天使さえもが興奮し、驚き、動転しているのです。静かに世界の終末を迎えるのではなく、神の裁きの前で動乱し、反逆し、絶叫する人類が描かれています。

2012年はシスティーナ礼拝堂天井画完成500周年にあたるメモリアルイヤーです。

また、翌2013年は「日本におけるイタリア年」でもあり、イタリア文化、特にルネサンスの巨匠ミケランジェロを知るまたとない機会となります。

システイーナ歌舞伎

水口 一 夫作・演出

主 Shiro 天 Amakusa 童子

主なる配役

七草四郎時貞

主天童子

片岡 愛之助

傾城茨木

茨木童子

上村 吉 弥

茨木娘早蕨

上村 吉太郎

女三の宮

千々石娘 横笛

中村 壺太郎

月本武者之助

坂東 薪 車

簡単なあらすじ

四郎時貞を総大将に原城に籠城した切支丹一揆も、幕府軍の激しい攻撃に落城し、一人四郎時貞は海上に逃げる。沢山の仲間を殺され、恋人の横笛までも所司代板倉に奪われた四郎は、一矢を報いんと京の町々を荒らす。その神出鬼没な行動から、古の酒呑童子の名を借りて主天童子と呼ばれる。

システイーナ歌舞伎

新作歌舞伎 和と洋のコラボレーション

水口一夫 作・演出 しゅてんどうじ

主天童子

藤間勘十郎 振付
苦舟 作曲
前田剛 装置
高山晴彦 照明



SISTINE KABUKI
OTSUKA MUSEUM OF ART

製作 松竹

2012年11月
13日 14日 15日

6回公演

※各公演 2時間半
予定 (30分前開場)

	昼の部	夜の部
13日(火)	13:30	18:30
14日(水)	13:30	18:30
	午前の部	午後の部
15日(木)	10:30	14:30

入場料 (美術館入館料・観劇料込)

全席指定 S席 12,000円 A席 10,000円

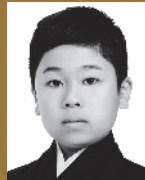
※当日券は500円増 ※未就学児は入場できません。



上村吉弥



坂東薪車



上村吉太郎



中村吉太郎



片岡愛之助

大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

システイーナ・ホール <http://www.o-museum.or.jp/>
お問い合わせ：088-687-3737

9月19日(水)

午前10時より販売開始

前売券販売所 徳島新聞社地域振興部…088-655-7331 <徳島新聞各販売店> / エアトラベル徳島…088-625-5551 / 小山助学館本店…088-654-2135 / 小山助学館鳴門店…088-685-2490 / フジグラン北島サービスカウンター…088-697-2911 / フタレコード…088-652-7932 / ローソンチケット【Lコード 62442】…0570-000-777 / 大塚国際美術館…088-687-3737

チケットホン松竹 0570-000-489

大阪 06-6530-0333 受付時間 10:00~18:00
または 東京 03-6745-0333

チケット Web 松竹

チケット Web 松竹

検索

パソコン・携帯電話より
24時間受付

※11/13、14はシステイーナ歌舞伎観劇の方のみの入館となります。

※車椅子のままでご観劇されるお客様は、チケットご購入の際に、大塚国際美術館までご連絡くださいませ。

主催：徳島新聞社 / NPO 法人とくしま傾く会 / 大塚国際美術館 協賛：阿波銀行 / 大塚グループ
協力：文化庁 / 徳島県 / 徳島県教育委員会 / 第27回国民文化祭徳島県実行委員会 / 文化立県とくしま推進会議
後援：NHK 徳島放送局 / 四国放送 / エフエム徳島 / 鳴門市 / 鳴門市教育委員会 助成：第27回国民文化祭・とくしま 2012 助成事業



この事業にはつくし収益金の一部が使われています

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 8月無休

入館料：小・中・高生 520円

大 学 生 2,100円

一 般 3,150円

*20名以上の団体は10%割引

アクセス

- ・鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR大阪駅より約2時間10分 / JR新神戸より約1時間35分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR徳島駅より約55分、JR鳴門駅より約15分、
「小鳴門橋」バス停より約15分、
「徳島空港」バス停より約30分



環境展示：「スクロヴェーニ礼拝堂壁画」

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 広報担当 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：info@o-museum.or.jp